



「何事にも全力で」



三年五組担任 遠藤 圭晃

卒業おめでとうございます。あつという間の3年間でした。思い出してみると、みんなが笑顔で、そして一生懸命に学校生活に取り組んできた姿が浮かびます。

さて、皆さんが入学した時にHRで「何事にも全力で取り組むように」とお願いしましたが、達成できたでしょうか。私はどちらかと言うと手抜きの青春時代を過ごしてきました。今思えば、もったいなくかつと後悔しています。おそらく卒業式のあとHRでも同じお願いをしたいと思います。しかし、忘れることもあると思いますので、文面にてお願いしておきます。「何事にも全力で取り組んでください」。

最後になりますが、みんなの担任ができて私は幸せでした。有難う。

また逢う日まで



三年六組担任 石倉 正

6組の皆さん、卒業おめでとうございませう。芸術コースで学んだ3年間は嬉しいことや楽しいこともあれば、時に苦しいこともあったでしょう。自分らしい表現を模索して悩んだり、仲間と語り合ったり、先生方にアドバイスをいただきながら、ひたむきに頑張りましたね。努力を積み重ね、ついに壁を乗り越えた時の喜びは格別だったと思います。

人生を航海に例えるなら、高校の卒業は安全な港からいよいよ船出していく時期です。皆さんを大切に育ててくださった家族をはじめ、周囲の方への感謝を忘れず、この社会という大海でどこまでもどこまでも自分の力を伸ばして行ってください。そしていつかまた演奏会や展覧会で会えることを楽しみにしています。

男子バスケットボール部

中国高等学校バスケットボール新人大会

時 2月8・9日

於 安佐北区スポーツセンター

1回戦 本校 82-73 岡山工業(岡山)

2回戦 本校 66-69 瀬戸内(広島)

ベスト8

大会総評

緒戦から厳しいゲームが続いた。2試合ともリードを許す展開となり本校の本来的内容ではなかったが、生徒は粘り強く戦いベスト8に入った。全国での経験を生かした部分も見え、次につながる試合であった。今後、県総体に向け精進していきたい。

当日は保護者の皆様をはじめ、多くの方々に声援をいただきました(顧問 椿 英史)

卓球部

令和元年度鳥根県卓球選手権大会

時 2月1・2日

於 カミアリーナ

(男子団体) 優勝 (2年連続12回目)

【出場メンバー】 三村悠斗 (24北)

山本 歩 (22北)、山腰洋平 (22北)

原田哲多 (14北)、杉浦大和 (中3)

(男子シングルス)

優勝 原田哲多

2位 山本 歩

3位 三村悠斗、杉浦大和

(男子ダブルス)

優勝 三村悠斗・杉浦大和

3位 山本 歩、原田哲多

大会総評



小学生から社会人まで、すべてのカテゴリーの選手が出場する大会で3冠を達成できたことは、選手にとって自信になったと思う。今後は3月の全国選抜大会に向けて、日々精進していきたい。(顧問 古瀬泰之)

サッカー部

令和元年度鳥根県高校サッカー新人大会

時 2月1日

於 松江商業高校

本校 5 [110] 0 浜田商業

2回戦 時 2月2日

於 松江総合運動公園陸上競技場

本校 0 [016] 9 大社

大会総評

新チームとなって初めての大会であった。1回戦では、勝利を目指してチーム一丸となり北陵らしく戦うことができた。また後半に得点を重ねたことに、基礎体力の向上と精神的な成長を感じた。しかし、2回戦では実力差を痛感する試合となったので改善していきたい。保護者の皆様をはじめ、応援していただいた皆様有難うございました。(顧問 鈴木雄介)



令和元年度鳥根県スポーツ功労者賞受賞

時 2月12日

鳥根県スポーツ記者クラブによる受賞者選考会の結果、今年度6月にドイツで開催された第7回世界なぎなた選手権大会演技競技の部において、日本代表として見事優勝した本校の井上美代教諭と7月に開催された第27回全国中学生なぎなた大会で団体優勝した本校中学なぎなた部が選ばれ、丸山達也県知事から表彰を受けた。



なぎなた部顧問井上美代教諭 中学校なぎなた部

合唱部

高等学校部門 金賞

第31回松江プラバ室内合唱コンクール

時 2月2日

於 松江市総合文化センタープラバホール

3年生が引退し、新体制で初のコンクールであった。今回演奏した曲はREMEMBERとBEATTIOMNESの2曲。ピアノ伴奏のないアカペラの曲であったことに加え、英語の歌詞の発音や言葉の意味を考えて表現することは難易度が高かった。しかし、定期試験や入試等の時期と重なり、思うように練習時間が確保できない中、部員達は精一杯練習に励み、金賞を受賞した。また金賞団体に送られる山陰中央新報社賞も受賞した。今後も更なる演奏の向上を目指し、日々練習に励みたい。(顧問 太田裕子)



吹奏楽部

第43回全日本アンサンブルコンテスト中国大会

時 2月2日

於 とりぎん文化会館 梨花ホール

本校からは、2チームが出場した。両チームとも、美しい音色で素晴らしい演奏を披露し、会場を魅了した。惜しくも、あと一步のところまで全国大会出場は叶わなかったが、両チームとも金賞を受賞することができた。またそれ以上に大変貴重な経験をすることができた。

この貴重な経験を糧に、更にレベルの高い演奏、そして皆様に愛されるバンドを目指し、日々精進していききたい。引き続きご支援ご声援のほどよろしくお祈り致します。(顧問 竹内康貴)

- サクソフォン4重奏 金賞
サクソフォン四重奏曲/A. デザンクロ
金管8重奏 金賞
第1旋法のカンツォン/G. ガブリエリ

### 出雲北陵高等学校 音楽コース 第27回卒業演奏会

時 2月9日  
於 ビッグハート出雲 白のホール  
音楽コース27期生15名による卒業演奏会を開催した。生徒達はそれぞれ各専攻教官の指導の下で積み上げた実力を発揮し、3年間の集大成となる見事な演奏を披露した。  
ここに至るまで様々な形でご支援、ご声援を賜りました保護者の皆様をはじめ各専攻教官の皆様、地域の皆様、ご来場いただきました皆様、関係者の皆様から感謝申し上げます。

### 美術・CGデザインコース 第19回出雲北陵高校卒業制作展

時 2月8日～2月9日  
於 出雲文化伝承館  
美術・CGデザインコースの3年間の集大成である卒業制作展を出雲文化伝承館で開催した。会期中は天候にも恵まれ、184人の方にご来場いただいた。本年は「孵化」をテーマに、生徒達はそれぞれの個性を生かしながら制作、運営、広報に1年をかけて準備してきた。会場では見やすく上品な雰囲気の中、個性あふれる力作が並び、爽やかな良い展覧会となった。今後はそれぞれの進路に進んでいくがこの3年間の糧に将来へ向かって努力を続けてくれることを期待している。開催にあたり、ご支援いただいた皆様に厚く御礼申し上げます。

### 卒業直前講座

時 2月12・18日  
於 本校黎明ホール  
卒業を直前に控えた3年生が卒業直前講座を受講した。この講座は3年間の教育活動の締めくくりとして毎年行われて



いるものである。12日には本校卒業生学生会長でもある森脇俊樹税理士をお迎えし、租税教室を開催した。  
税金の仕組みについてクイズなどを交えて分かりやすくお話をいただいた。また県環境生活部環境生活総務課の遠藤紀子先生からはSNSに関するトラブルやその対処法についてお話をいただいた。  
さらに、18日は「源氏蛍の会」代表三浦成人先生に「生きるといふこと」と題しお話をいただいた。ご自身の経験を交えたお話は感動的で生徒の心を強く打つ内容であった。

この講座で学んだことを生かして4月からの新しいステージでも頑張ってください。 (3年主任 黒崎 勉)

### 企業見学会

2月14日、2年生就職希望者60名が(株)丸三、島根ナカバヤシ(株)、(株)松井島根ファクトリーの3社を見学させていただいた。  
参加者は、各企業の担当の方から企業理念や求める人材の説明を聞き、仕事の現場を見て、積極的に質問をしていたが、受験する企業の選択に役立つ貴重な見学会となった。  
今回、見学許可をいただいた企業の皆様、また出雲地区雇用推進協議会の皆様には大変お世話になりました。厚くお礼申し上げます。  
(就職指導部 別所美喜子)



島根ナカバヤシで説明を受ける生徒

### 卓球部 中学校

第13回中国中学校選抜卓球大会  
時 2月1・2日  
於 山陽小野田市民体育館



予選リーグ 3勝0敗  
決勝リーグ 5勝2敗  
3位  
大会総評  
要所で練習の成果が発揮された部分も見つかった大会となった。夏に向けて一つずつ課題をクリアしていきたい。  
(顧問 相場翔太)

### 第49回後藤杯卓球選手権大会(名古屋オープン)

時 1月25・26日  
於 岡崎市中心総合体育館  
(男子シングルス)  
ベスト16 佐藤卓斗 (中2)  
小野泰和 (中1)

大会総評  
残念ながらランキング入賞を果たすことができなかった。しかし、強豪チームの選手にも通用する技術などを確認することができ、意味ある大会となった。  
(顧問 相場翔太)

### 男子バスケットボール部

第29回出雲市中学生招待バスケットボール大会  
時 2月2日  
於 斐川西中学校体育館  
1回戦 本校 46-36 平田  
準決勝 本校 31-64 出雲二  
3位  
優秀選手賞 藤井裕大 (中2)  
大会総評  
少人数ながら、粘り強く戦うことができた。ご声援有難うございました。  
(顧問 多々納厚比古)

### 女子バスケットボール部

第29回出雲市中学生招待バスケットボール大会  
時 2月2日  
於 出雲第三中学校体育館  
1回戦 本校 47-18 平田  
準決勝 本校 23-59 出雲一

3位  
大会総評  
いずれの試合も、やるべきことを徹底することができなかった。この反省を踏まえ、しっかりと練習に励みたい。当日は保護者の皆様からご声援いただき有難うございました。  
(顧問 篠原勝利)

### 第4回合同道徳

時 2月3日  
於 本校北陵ホール



「自分の人生をどう生きるか」というテーマで菅田修司教頭による合同道徳が実施された。  
「人はロボットを造ることができて、いのちあるものを造ることはできない。」「いのちは尊いもので、生きていることは当たり前ではない。」「どう生きるかを考えることができるのは人だけである。」等お話をいただいた。生徒達は先生の呼びかけに答えながら真剣に話を聞いていた。

### 中学2年生スキー研修

時 2月7日  
於 琴引フォレストパーク  
本年度も中学2年生を対象とした、スキー研修を実施した。  
研修中は3班に分かれて練習を行った。はじめはどの生徒もスキーによる動きづらさや予想以上にスピードが出ることに苦戦していた。しかし、班のメンバー同士で声をかけあい、転んだメンバーに手を貸す場面が見られた。スキーを初めて体験する生徒もいたが、最後は全員がリフトに乗るまでに上達した。仲間の存在を感じる、充実した研修になった。



## 作品と研究

### 「礼法を学んで」

「礼法」は、「礼儀作法」を学ぶ本校独自の教科です。現在は、高校1年生が毎週一時間、担当の教員2名の講話を聞いて、様々な実習を通して作法を身につけていきます。

近藤 志音 (1-1 姓)

私は、礼法の授業で、先生の話や、実習から自分の足りない部分を補う材料をたくさん見つけることができました。例えば、「人に幸せをプレゼントする」という話を聞いて自分自身が変化したことがあります。その話を聞くまで、私は人見知りで、自分の気持ちを素直に言えませんでした。

「プレゼント」とは笑顔のことです。私達は、人に何かをしてもらったとき「ありがとう」と言います。それに笑顔でプラスすると、気持ちが表情に出るので、お互いに幸せな気分になれるのだと思います。実際に人に笑顔で接していくと、相手も笑顔になっていくことがわかりました。そして、どんどん人と話がしやすくなり、会話も弾むようになりました。私は卒業するまではもちろん、その先もずっと笑顔で心がけていきます。礼法で学んだことは絶対に役立つと思います。1年生で学んだことを2、3年生でもしっかり行っていきたいです。

平井 花音 (1-2 姓)

私は、礼法を学んで改めて礼儀について知ることができました。部活動を通して、小学校の時から挨拶が大切なことや、どんなときに敬語を使うのかなどは、ある程度わかっていました。しかし、その他の面について、今まで

知らなかったことを礼法を通して学ぶことができました。例えば、戸の開閉や部屋への入室の仕方についてです。それまでは、ただ両手で静かに開閉して、入室後は姿勢に気をつけていただけでした。授業で、戸のどの部分をノックしてどのようにして戸を開け、入室するのかなど、具体的に知ることができました。そして、それらを学んだ日から一つひとつ意識して行っていくようにしています。また、礼法で学んだ全てのこととは、学校生活以外の場面でもできることばかりです。さらに、今だけではなく、社会に出てからも役に立つと思います。

私は高校卒業後、大学に進学するので、出雲北陵高校の卒業生として、恥をかかないように礼儀をきちんとしていこうと思っています。

阿式 愛海 (1-3 姓)

私は最初の礼法の授業で内容を聞いた時に「嫌だな」「面倒だな」と思っていました。でも、授業が進んでいくうちに、礼法の大切さに気づきました。その一つ目は、自分が必要なもの、あたりのことをあたりまえにできていなかったことでした。

例えば、トイレのスリッパの整頓や、あいさつの声、授業時の礼などです。以前は気にもしていなかったことが、今では意識してできるようになりました。二つ目は、さまざまなことを相手の立場に立って考えるということでした。言われたからやっていたときには、「なんだろうな」と思っていました。相手の立場に立って考えてみると、「こうした方がいい」とか、「こんなやり方もある」という風に、いろいろな視線から考えるようになりませんでした。

面倒なこともあります。絶対に将来に役立つと思っています。1年間でしたが、本校にしかない礼法の授業でたくさん学べてよかったです。

上田 日向 (1-4 姓)

私は、中学校の時から「合同礼法」で礼法を学ぶ機会がありました。しかし、大事だと言われている姿勢は良くないし、学んだことを自然にすることもできていません。礼法は何年も、意識してやることでようやく身につくものだと改めて実感しました。私は将来、接客業の仕事に就きたいと思っています。より礼法が大切だと感じています。

今、私が礼法を学んで役立っていることは、月旦朝礼などの集会での礼です。普段から意識していたので、今では習った礼ができています。

それから、私は引き戸の開閉がとても苦手で、実習の時には苦戦しました。今でも上手にできません。私生活でも引き戸を見つけたら、意識して開けるようにしています。

私はこの1年間で学んだことを、2年生になるまでもう一度振り返り、しっかり身につけたいと思います。

濱井 倫彦 (1-5 姓)

私は礼法という授業を最初は全く知りませんでした。聞いたこともなく、どんな授業なのか見当もつかなかったほどです。

しかし、この礼法によってたくさん大切なことを学ぶことができました。一番大切なことは、校訓である「柔しく剛く」と思っています。相手のことを考えた優しさ、自分のことに責任をもつ厳しさというあたりまえなことだけれど、なかなか実行することができません。それでも礼法を学び少しずつ学べました。それが、礼儀やルール、マナーなどを意識するようになり、失礼のない敬意ある言動を身につけて、これからの生活や大人になって社会に出るときに役立っています。

最後に、礼法では講話もあるのですが、私が一番印象深く心に残っているのは「お金の価値」についてでした。本当に自分は無駄遣いばかりしていると考えさせ

られました。礼法で学んだことや、先生の講話を少しでも自分のプラスとなるようにしていきたいです。

佐藤 至将 (1-6 姓)

私は礼法の授業を受けて、意外と知らなかった礼儀や作法を学ぶことができたと思っています。

具体的には、制服のたたみ方や戸の開閉の仕方、授業の受け方、受ける心構え、学校生活のマナーなどを学びました。一見、小学生でも知っているようなことでもあります。社会人が意外と知らない正しい礼儀を実習を交えて習うことができ、とても良かったと思います。

また、知っておきたい一般常識としてコーヒーカーップとティーカップの違いやそれぞれの機能。進物をする場合や慶事・弔事の場合の知識など、学校生活に関わること以外のことも知ることができ、とても良かったです。

礼法は他教科のように学力や思考力を高めるのではなく、その根本にある基礎である人間力を高めるものだと考えています。そのような礼法を教科として習い、実習したことを忘れずに、今後の学校生活を含め大切な人生に生かしていきたいと思っています。



第47回島根県高等学校写真展審査会 3年の部 第2席

今月の  
1枚

「おっす」

福島 悠太 (3-1 姓)